

# 農業委員会だより

■ 発行人 飯山市農業委員会 松永晋一  
 ■ 編集 飯山市農業委員会 情報委員会

## 農業委員会管内研修視察

### アスパラ畑（柳原） ワインぶどう栽培（太田）を視察

立葵の花がてっぺんまで咲くと梅雨が明けるといふ。アジサイが色鮮やかに咲き競い、季節の盛りを感じさせた。気温の低い日が続く作物の出来を心配していたが、農業委員会の管内視察を実施したこの日は朝からジリジリと照り付ける夏の日になっていた。



最初に柳原地区の運動公園に抜ける市道沿いのアスパラ畑に伺った。厚く敷きわらがされ大切に育てられているというのが第一印象だった。小嶋秀典さん55歳、アスパラ60㍎、ブルーベリー30㍎、ズッキーニ15㍎の他スモモや野菜を奥さんと作る。田んぼは260㍎を耕作する。日焼けした顔に農業プロの自信が満ちている。

「スーパーウエルカムは病気に弱いところがある、取りすぎにならないように30日程度の収穫にしている、株は弱らせないこと」と言い、夏秋取りはしていないと言う。殺菌のバーナー処理は「良い菌まで無くしてしまうのではない」とも、「ネズミやモグラにやられて欠株になりたいへんだよ」と困り顔も。

紫アスパラの作付けには、太くて長くなるのが特徴で、2Lになるものが多い。味は、青臭さが無くても甘みも違う。販売方法やいろんなルートも掘り起こしたらとほ場で即席の市場開拓懇談になった。次に積雪地でのワインぶどう栽培視察をした。この位置から見渡す飯山の風景は新鮮だった。ほ場は南西に開けた



オンロイバナ

日当たりが良く、峰の頭にあるため水はけも良くぶどう作りには絶好の場所という。標高は420㍎ほ場は1畝×2カ所。

木原翼さん22歳、「飯山市ワインぶどう研究会」を立ち上げ、今年6月に植え付けをした。雪国仕様で2本ずつ斜め45度に植えた。この日希望の若芽が付き始めて嬉しくなった。成長したブドウの枝は積雪期には真横に寝かせておき雪解けには起き上がり問題は無いと言う。

豪雪地帯におけるワインぶどう栽培の挑戦、先進地視察を行いここ飯山でも十分に栽培可能と判断し、まずは以前から栽培していたソバ畑をほ場にしたい。近年、温暖化の影響からか、有名な山梨県から長野県の高梨の標高の低いところに作付けが移ってきているとも言っている。

何がこの地に合うのか、メルロー、シャルドネ、赤ワイン用のソーピンオンブランなど6種類を植えてみて、成り行きを見ながら変えていきたい。将来は栽培面積5畝、収穫量40トのワインぶどう栽培を地域の特産に仕上げ、地域産業とのコラボや観光商品の創出、仲間づくりにも発展させたい。「失敗を恐れず何とか成功させるといふ、強い意志をもって取り組む」と語ってくれた。

今回の視察で、農業のプロとしての自信に満ちた農業者と強い意志を持った若手農業者を訪問し、非常に頼もしく、今後の飯山市農業にとって大いに期待されるものであった。

農業振興委員 荻原育夫

## あぜ道だより



飯山地区農業委員 月岡 信一

### 農業委員を経験して

7月末で3年間の農業委員としての任期が終わろうとしています。農業委員の活動のひとつに毎年9月から10月頃にかけて行っている農地の利用状況調査があります。これは管内すべての農地利用状況について調査を行い、遊休農地および遊休農地化の恐れのある農地の把握、そして農地の違法転用発生防止と早期発見を目的としたものです。

事務局より自分の調査担当地区の地図を配布されますが、任期1年目はその範囲の広さに驚きました。私の調査対象は飯山地籍です。普段農作業で通い慣れた付近は地図を見て一目でわかります。ところが、調査対象は管内全域の大小ある農地の一筆一筆の

調査です。実際そこで耕作されている多くは隣接の柳原地区、または常盤地区の農家であつたり、あるいは千曲川対岸の農地でやはり耕作されているのは主に木島地区の人たちで、改めて飯山地籍の広さを実感しました。普段足を踏み入れたことのない地域に向くといろいろ見えてきました。すでにニセアカシアなどの高木が生えている農地、また背丈を遥かに超えたオオブタクサなどの雑草に覆われ、農道が迷路のようになり、隣の畑との境界が判別できないなど、畑としての再利用が困難な農地が多くありました。また周りは荒れて熊の捕獲檻が設置されているような場所もありました。

政府は農地中間管理機構を通じて農地の8割を集積し、担い手農家や農業法人等に貸し付けをしようとしています。平成26年度の達成率が目標をはるかに下回ったため、規制改革会議など財界からは、耕作放棄地の税負担を重くすべきとの過激な発言が出ていますが、そもそも集積が困難な借り手が見つかりそうもない農地は、機構が借

りない仕組みになっています。これでは集積が容易な広大な平坦地を有する地域はともかく、多くの中山間地をかかえる飯山地域では、集積できる農地は限定されます。国の政策から漏れると思われるこのような農地は、高齢化した農家の人たちによってぎりぎり維持されているのが現状です。人口減少が進む中、条件の悪い農地から森林または原野化した農地が増加すると思われるからです。この先10年20年後これらの農地はどのような姿になっているのか心配です。

### あしあと 5・6月の活動記録

- 5月11日 農業委員会役員会
- 20、21日 19市農業委員会協議会総会（駒ヶ根市）
- 26日 5月農業委員会総会
- 28日 全国農業委員会会長大会（東京）
- 6月10日 農業委員会役員会
- 29日 管内視察・6月農業委員会総会

## 老後生活の備えは農業者年金の加入から ～家族一人ひとりの年金を～

年金は一人ひとりが受け取るもの  
ですから、家族一人ひとりが自分の  
年金を早い時期から計画的に準備す  
ることが大切です。



- 加入できる方
  - ・ 国民年金の第1号被保険者である方
  - ・ 20歳以上60歳未満の方
  - ・ 年間60日以上農業に従事する方
- 加入できる方
  - ※配偶者や後継者など家族従事者も加入できます。
- 積立方式のため保険料は自分で決定
  - 毎月1万円の保険料は2万円から6万7千円の間で、千円単位で自由に決められます。農業経営の状況や老後設計に応じて、いつでも見直すことができます。
- 終身年金で80歳までの保証付き
  - 年金は生涯支給されます。80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までに受け取れるはずであった年金額を、また65歳前（年金受給前）に亡くなられた場合には、死亡一時金を遺族の方が受け取れます。
- 加入や脱退は自由
  - 加入や脱退はいつでも自由に行えます。途中脱退した場合でも将来、年金として受給できます。
- 保険料への助成制度があります
  - 60歳までに20年以上加入することが見込まれ、その他の定められた要件を満たした場合、基本保険料（2万円）のうち国から2割から5割の補助を受けることができます。

詳しくは、農業委員または農業委員会事務局へお問い合わせください。

飯山市農業委員会事務局  
 飯山市役所農林課内  
 電話：0269-62-3111  
 （内線261）  
 FAX：0269-62-6221

15.7  
No.213